

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	閑佐藤製作所 PX-80 1期組立	階数	地上2F
建設地	京都府向日市鶏冠井町十相34-1、	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2020年4月24日
敷地面積	2,416 m ²	作成者	中路 崇史
建築面積	1,269 m ²	確認日	2020年4月24日
延床面積	2,439 m ²	確認者	中路 崇史



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

環境品質 Q
環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能
Q1 室内環境
LR1 エネルギー
LR2 資源・マテリアル
LR3 敷地外環境
Q3 室外環境(敷地内)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.6**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.1**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 特に無し		その他 特に無し
Q1 室内環境 特に無し	Q2 サービス性能 リフレッシュスペースや自動販売機を設け、快適性の向上に努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し
LR1 エネルギー 高効率な設備機器を採用しエネルギー環境に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 特に無し	LR3 敷地外環境 リサイクルCO ₂ 排出量76%に低減し、環境に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される